

## 1. 経緯・計画・経過（中道）

### （1）経緯

- ①発端
  - ②候補の国立公園と形態の絞り込み
  - ③骨格
  - ④具体化
- （2）計画
- （3）経過

## 1. 経緯・計画・経過（中道）

### （1）経緯

#### ①発端

忘年会を機に構想が盛り上がり、古林の呼び掛けにより 24 年 12 月 27 日午後秋田、大塚、斉藤幸子、斉藤光子、中道、古林が集まり、それぞれの思い(候補地、形態)等を述べたうえで、次の 4 つの国立公園に集中して

- ア. レーニア山 NP
- イ. ヨセミテ NP
- ウ. グランド・ティートン NP
- エ. ロッキー山 NP

各自考えを次のように展開した。

斉藤幸子	ア. とウ. の	H T	H: ハイキング重荷を持たないで 1 日歩く
斉藤光子	ア. とウ.	H T	T: 露営で装備を持ち歩く
秋田	ア	P T	P: ピークハント
大塚	ア. とエ.	P	
古林	ア.	P T	
中道	どこでも		

ア. レーニア山 NP と ウ. グランド・ティートン NP とに関心が集中したことを踏まえ、判断のもととなる

ガイドを見つけることができるか

移動に不可欠な車をどうするか

について調べることになった。

また時期についてはシーズン最盛期の前のおおむね 6 月の 2 週間とした。

さらに、この6名の能力を超えることから山なかまシリウスの会海外山行とはしないが、これまでの会海外山行参加者等関心がある者に声をかけることにし、星野が新たに参加した。

### ②候補の国立公園と形態の絞り込み

25年1月18日夕に第2回の打ち合わせを行い、大塚から Mt. レニエ と Mt. ティートン のガイドランスとガイド活用について説明があり、候補の国立公園と形態を次のように絞り込んだ。

	Mt. レニエ	G. ティートン	ヨセミテ	コロラド
ピークハント	—	秋田①	—	—
クライミング	—	大塚① 中道①	—	—
トレッキング	大塚② 光子② 古林①	秋田② 幸子① 光子① 大塚① 古林②	大塚② 中道② 星野②	幸子② 星野②
ハイキング	—	—	—	—

①案 ほぼここに決める

②案 オプションとしてイエローストーンを観光する

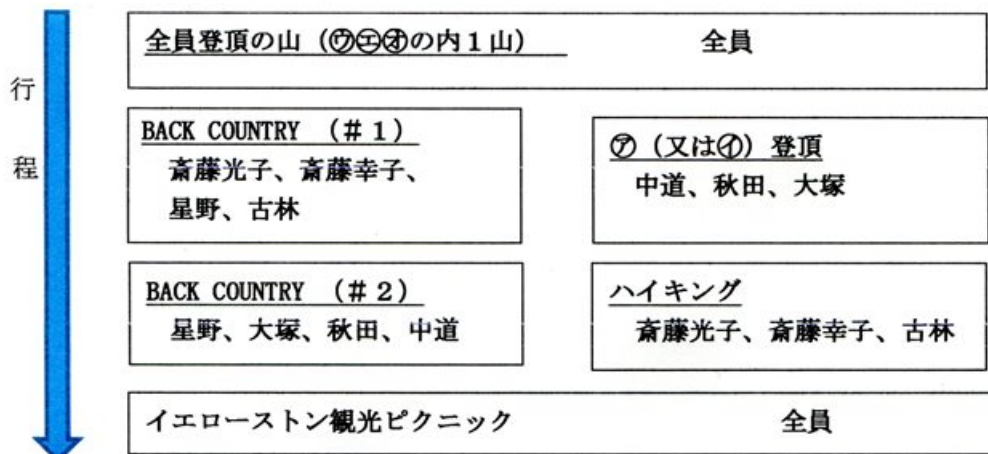
- 資料1 Mt.Rainier 登頂ルートについて
- 資料2 Mt.Rainier 登頂におけるガイド活用について
- 資料3 グランド・ティートン登頂ルートについて
- 資料4 グランド・ティートン登頂におけるガイド活用について

### ③骨格

- 25年2月1日夕に第3回の打ち合わせを行い、
- グランドティートン国立公園（以下、GTと略）の概要と地名の確認（中道）
- GT 登山候補ルート案の説明（大塚）

## GT のキャンプ場についての説明(中道)

を受け、計画の骨格を次のように固めた。



●BACK COUNTRY は、2泊3日/回程度のコースを検討する。

注：

- ㊷ グランドティートン峰 「オウエンスポールディング」ルート
- ㊸ オーウェン峰 「コーヴェン」ルート
- ㊹ ミドル・ティートン峰 「南西クロワール」ルート
- ㊺ ティーウィノット峰 「東壁」ルート
- ㊻ 南ティートン峰 「北西クロワール」ルート
- ㊼ セント・ジョン峰 (ハイキングコース)
- ㊽ コディー・ピーク (軽ハイキングコース)

また、活動の基地となるベースキャンプ(BC)としては次のような情報をえた。

一番便利なキャンプ場は Jenny Lake Campground であるが、事前予約が不可であること、1サイト分の制限が車1台、人数6名であり、隣り合った2サイトを確保できるかどうかは、行ってみなければ分からない。グループキャンプ場なら7名以上が同じサイトに泊まれるが、Jenny Lake Campground はグループキャンプ場にはなっていない。

Jenny Lake Campground に滞在できる日数は最大7日間であるから、後半は別のキャンプ場に移動しなければならない。どこのキャンプ場に移動するかは、行動日程、運転者の在不在、キャンプ場の空き状況などから現地で判断せざるを得ないと思われる。

## ④具体化

25年2月16日夕に第4回の打ち合わせを行い、次のように行動計画を具体化した。

#### ア. 全員登頂の山

前回候補として挙げた㊸、㊹は検討の結果、全員登頂の山としては難しいことから、大塚・中道が再度20座を調査、内、全員で登頂可能な5座の候補を選定し、

グループ1 候補① Albright Peak (3,216m)、② Static Peak (3,445m)

グループ2 候補③ Mount St. John(3,484m)

グループ3 候補④ Gody Peak (3,280m) ⑤Rendezvous Peak (3,333m)

グループ1の①・②の山に South Fork Cascade Canyon を加えた周遊コース、行程約38kmで2泊3日に全員一致で確定した。

#### イ. モーター

到着日は町の中心に近く歩いて食事に行ける距離にあるモーターが確保(\$400くらい)、帰国日が少し高い(\$480)が、同じ Anvil Motel に予約した。

また到着日と帰国日の行動について確認した。

#### ウ. 航空券の予約

中道・大塚で HIS 新宿店を訪問し、当初予定していた航空券は売り切れてしまつたが、次のように予約した。

ジャクソン・ホール空港の到着時間により2種類の航空券を予約する。

中道・秋田はレンタカーの関係で空港到着16:42. 141,930円

他5名は21:30分ジャクソン空港H着 112,930円

各自の航空料金は後ほど調整し均一とする。

キャンセルはできるが殆ど返金はない。

成田からジャクソン・ホールまでの手荷物(預け・持込み)の可能(無料)個数と重量について大塚が再確認する

#### エ. テント

BC用、行動用別に用意した。

#### ウ. 食糧計画

女性3人が担当し、

日本からどんな食料を持参するか

現地買出しのリスト作成。

調理器具は大きいものは現地調達する

エ. レンタカー

中道・秋田で2月25日にエイビスの事務所に行き予約する。

オ. 名称

チーム名をつける。

後日 GT7 とした。

カ. トレーニング

齊藤光子が1泊くらいで合宿を企画し、持参する装備品を背負って各自確認する。

大塚が共同装備・個人装備リストを作成する。

大塚がGT登頂組3人の訓練を計画する。

## (2) 計画

3月4日、4月20日、6月7日の夕にそれぞれ第5, 6, 7回検討会をもち、最終的に次のように計画を確定した。女性3人はこのほかに食糧・炊事用具等について度々打ち合わせを行い、また自主的に訓練を行った。

また留守宅本部を山なかまシリウス事務局長藤野さんにお願ひし、快くお引き受けいただいた。

### ①メンバー

秋田 勲男 69歳    大塚 忠彦 70歳    斉藤 幸子 64歳    斉藤 光子 67歳  
中道 宏 74歳    古林 宏 73歳    星野 眞知子 67歳

### ②役割分担

ア. 渉外・・・古林

空港、モーター、BC,CS、観光等、イ. を除くすべて

イ. 渉外・・・大塚

トレッキング、登頂

ウ. 日程調整・・・中道

エ. レンタカー運転・・・A車 秋田、古林

B車 中道、斉藤幸子

オ. 食糧管理・・・斉藤光子

食糧の購入、日々の食当の指名を含む

カ. 共同装備管理・・・秋田

行動時を含む共同装備の運搬分担指示を含む

キ. 会計・・・斉藤幸子

ク. 記録管理・・・星野

ケ. 留守宅本部への連絡・・・古林

コ. 行動時のリーダー

全員登頂の山・・・中道

トレッキング・・・古林

GT 登頂・・・大塚

Y SNP 観光, Jackson 観光・・・秋田

③日程

序数	月	日	曜日	計画	実行
				日程	
1	6	20	木	東京17:00~12:50デンヴァー UA138 (秋田、中道) デンヴァー15:10~16:42ジャックソン UA5533 レンタカーAを借りAnvil Motelへ (大塚、古林、斉藤幸子、斉藤光子、星野) デンヴァー19:57~21:27ジャックソン UA4918 タクシーでAnvil Motelへ、(同泊)	同左 同左 乗り遅れ、デンヴァー空港で仮眠
2		21	金	A車(秋田、中道)で大塚、古林をRanger Stationへ送る BC1の確保・決定、情報収集 A車でレンタカーB車を借りる A車B車でBC1へ移動 設営、情報収集 A車(秋田、中道、斉藤光子)で食糧、共同装備等を買出し① 全員登頂の山行の準備 (BC1泊)	A車(秋田、中道)でJenny Lakeへ キャンプ場の確保できず 同じくSignal Mountainへ、BC確保 A車で空港へB車を借りる A車(中道、斉藤、斉藤)で食糧、共同装備等を買出し B車(秋田、大塚、古林、星野)でBCへBC設営
3		22	土	Death Canyon TH と String Lake THへ車を残置 South Fork Cascade Canyon Trail へ、(同Group CS泊)	休養(BC泊)
4		23	日	Alaska Basin Trail へ Static Peak(11303) Albright Peak(10562)登頂 Death Canyon Trail へ (同 Group CS泊)	Death Canyon TH と Jenny Lakeへ車を残置 Static Peak(11303) Albright Peak(10562)登頂へ出発 Cascade Canyonへ (同 Group CS泊)
5		24	月	Death Canyon THへ BC1に戻る 買出し② (BC1泊)	Harricane Passへ 雪深く、ルート・ファインディング困難で Alaska Basin横断を断念し、下山
6		25	火	休養 (BC1泊)	休養 (BC泊) Static Peak登頂を断念
7		26	水	自由行動 (BC1泊)	Death Canyonへ
8		27	木	(古林、斉藤幸子、斉藤光子、星野) BC2へ移動、買出し③ (BC2泊)	(古林、斉藤幸子、斉藤光子、星野) 秋田・合流 BC移動せず Cody登頂断念 イエローストーン観光
9		28	金	下車後Cody(10763)登頂 (Middle/South Fork Granite Canyon Group CS泊)	Colter Bay ハイキング
10		29	土	Granite Canyon Trail へ(Granite Lower Group CS泊)	イエローストーン観光
11		30	日	Garanite Canyon TH へ タクシーでBC2へ	Tramway散策
12	7	1	月	休養 (CS2泊)	Taggart Lake ハイキング
8		27	木	(秋田、大塚、中道) BC2へ移動、買出し③ (BC2泊)	(大塚、中道) 秋田・本人の意向で離脱 BC移動せず 休養
9		28	金	Lupine Meadows TH へ (PlatformまたはMedows CS泊)	Lupine Meadows TH へ (Platform CS泊)
10		29	土	Lower Saddle へ (同泊)	Lower Saddle 直下から撤退、BCへ
11		30	日	Grand Teton(13770)登頂、往路に戻る Lipine Meadows TH へ	休養
12	7	1	月	休養 (CS2泊)	イエローストーン観光
11		30	日	(全員) BC2 へ 買出し④ (CS2泊)	(全員) —
12	7	1	月	休養 (CS2泊)	—
13		2	火	YSNP へ (CS2泊)	Floating the Snake River
14		3	水	BC2撤収 ジャックソンへ、市内観光 レストランで打ち上げ (Anvil Motel泊)	BC撤収 同左 同左
15		4	木	タクシーで空港へ ジャクソン 8:30~UA6480~9:50 サンフランシスコ 11:30~UA837~ (機内泊) (中道はレンタカーでコロラドへ)	同左 (中道も帰国へ)
16		5	金	~14:05 東京	同左

### (3) 経過

①2. 以下に具体的に述べられるが、前頁の計画日程と実行日程の差異にかかる主な点を記す。

#### ア. デンヴァー空港における乗り遅れ

デンヴァーにおける UA の説明不足から後発 5 人が乗り遅れ、1 日遅れでジャックソン・ホールに到着した。これにより予備日を 1 日使った。

#### イ. ベース・キャンプ(BC)

秋田、中道で Jenny Lake で探したが、すでに満杯であり、その後続きの空きサイトを確保することが困難と考え、Signal Mountain に求めた。結果として好評で、12 日間固定した。

#### ウ. レンタカー

1 台目がマスタングであったので、2 台目は割り増しを払ってトヨタの RV 車に変更した。これで 1 人 2 パックの荷を運べた。

#### エ. モーター

予約段階のミスで部屋数が足りず、帰国日は追加した。

#### オ. 積雪

高所にはところどころ残雪はあるが、夏山であると想定していた。残雪が多く、計画通りに歩けず、変更を強いられた。

到着時は寒く、帰国時は暑さが厳しい等季節の変化が激しい時期であった。

#### カ. Ranger Station の情報の不的確さ

積雪情報が不的確で後述するように行動に支障をきたした。

#### キ. メンバーの変更



本人の意向で秋田が GT 登頂から離脱した。

## ②評価

### ア. 登頂できなかった

5月の連休に北穂高岳に夏山技術・装備で計画・実行したのに似ている。滞在中に残雪が日々少なくなっていたことからみると、計画が10日早かった。混み具合からシーズン前を狙った判断に起因している。

グランド・ティートン国立公園は景観、野生生物等に恵まれ、登頂変じてハイキングを愉しみこともでき、またレンタカーを含め事故がなかったのは幸いである。

### イ. 参加者全員で手作りの計画を愉しんだ

構想の段階から全員で知恵を出し、実行した。